

世界気象機関 IMO 賞授賞式の報告

既報のとおり、松野太郎名誉会員（元理事長，東京大学名誉教授，北海道大学名誉教授，現所属：海洋研究開発機構）に，世界気象機関（WMO）から第55回 IMO 賞（International Meteorological Organization Prize；国際気象機関賞）が授与されることが昨年（2010年）に開催された WMO 第62回執行理事会にて決定されました（長谷川 2010）。このたび，2011年6月2日（木）にジュネーブ（スイス）にて，第16回世界気象会議（WMO 総会；2011年5月16日（月）～6月3日（金））の会期中に授賞式と記念講演（科学講演）が開催されましたので，以下に報告いたします。

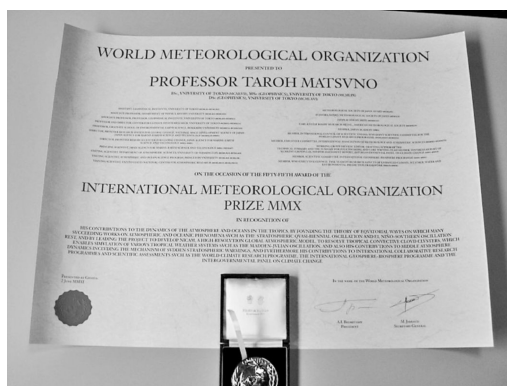
授賞式では，M. Jarraud WMO 事務局長から松野名誉会員のこれまでの功績が紹介されるとともに，A. Bedritskiy WMO 総裁より，賞状，メダル，そして副賞（1万スイスフラン）の目録が授与されました（第1，2図）。また，在ジュネーブ国際機関日本政府代表部から菅沼健一大使にご出席頂き，祝辞の中で，松野名誉会員の受賞が日本の若い科学者へのよい刺激となり，日本人による気象や気候に関する研究活動が更に発展することへの期待が述べられました。

その後，松野名誉会員により，「Future of Numerical Modeling of Weather and Climate in the Tropics（熱帯における気象・気候数値モデリングの将来）」という演題にて記念講演が行われました（第3図）。ここでは熱帯域を対象とした研究について，「全球雲解像モデル」を用いた数値シミュレーションに関する研究を中心に，第16回世界気象会議に参加した世界の各国/地域からの代表に向けて熱く講演されました。最後の質疑応答でも，是非講演資料を共有して欲しいと要望が出される等，多くの賞賛の声があがり，講演は大成功に終了しました。

なお，本授賞式にはゲストとして，米国から都田菊郎名誉会員（プリンストン大学）も参加されました。授賞式の開催前には，松野名誉会員に加え，都田名誉会員の回りにも多くの会議参加者が集まり，記念撮影



第1図 授賞式の様子。左から Jarraud WMO 事務局長，松野名誉会員，Bedritskiy WMO 総裁。（写真は WMO 提供）



第2図 賞状とメダル。



第3図 記念講演の様子。

を求めていました。

また、その日の夜には、気象庁からの会議出席者、WMO 邦人職員に加え、授賞式の同日に科学講演をされた A. Simmons 博士（全球気候観測システム (GCOS) 運営委員会議長）、同会議に出席されていた M. Béland 博士（WMO 大気科学委員会 (CAS) 委員長）、そして都田名誉会員と奥様が集まり、今回の受賞のお祝いの夕食会を開催いたしました。時間の進みがあったという間に感じられるような、楽しい会となりました。

最後になりますが、今回の松野名誉会員の受賞につ

いて改めまして心からお祝い申し上げたいと思います。また、今回の授賞式と記念講演の準備にあたり、WMO 事務局及び海洋研究開発機構の関係者の皆様に変にお世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

参 考 文 献

長谷川直之，2010：松野太郎会員が世界気象機関 IMO 賞を受賞。天気，57，538。

（気象庁国際室 新保明彦）